

フロリダ留学定期レポート（10月、11月）

法文学部言語文化学科

田中優希乃

留学生活も残すところあと2週間ほどとなりました。10月は、後期の授業にも慣れてはきましたが、課題やテスト、プロジェクトなどが多く大変でした。Public Speakingの授業では、Introductory Speech, Informative Speech, Persuasive Speech等、自分が選んだ一つのトピック



に関して様々な方面からスピーチをするということをしました。自分の意見を自分のしたいように述べるができるスピーチもあれば、文献をきちんと調べ、スピーチの中に取り込み、アウトラインに沿って話さなければならないというものもありました。6～8分間のスピーチを暗記して話すというのはなかなか大変でしたが、ネイティブに交じってスピーチをしていくことで自信がついたと思います。

今学期も日本語ボランティアに行っています。日本語を学習している学生と友達になることができ、とても楽しいです。アメリカの学生は、日本の学生よりも積極的に教授に質問をしに行ったり、オフィスアワーに行ったりしていると思います。日本語テーブルという会話を練習するボランティアに行っても、学習意欲が高い学生が多く、やりがいがあります。日本に留学に行く予定の学生も多いです。日本語の先生方も、ボランティアの学生のためにお菓子パーティーやピザパーティーを開いてくださったり、とても親切です。

10月の終わりは、街がハロウィンムードでした。基本的には、コスチュームを着たり、お菓子を食ったりパーティーに行ったりと日本と変わらないなと感じました。しかし、家の中や外をハロウィン風にデコレーションしたりというのはとてもアメリカらしくていいなと思います。アメリカでハロウィンを経験することができ、良かったです。



3年前にフロリダ短期プログラムに参加した際に、お世話になったホストファミリーに会いにオーランドに行きました。一緒にショッピングモールに行ったり、ディナーを作ったり、マーケットに出かけたりして素晴らしい時間を過ごせました。自身の英語力が3年前に行った時と比べてはるかに上達しているので、話すことができる内容も濃くなり、スムーズに会話がで

きて嬉しかったです。この縁をいつまでも大切にしたいと思いました。

11月に、一週間ほどサンクスギビングブレイクがありました。日本人の留学生とアメリカ人の友達と一緒にキーウエストとオーランドに行きました。ヘミングウェイの家に行ったり、セブンマイルズブリッジを見たり、自然を見たり、別世界を感じられました。帰国前に思い出作りができてよかったです。残りの2週間、ファイナルウィークですが、後悔のないように全力で取り組み、また一日一日を大切に過ごしたいです。

